

参考資料

カザフスタン原子力委員会と日本原子力研究開発機構との間の 高温ガス炉の安全性研究に関する情報交換のための覚書(和訳)

カザフスタン原子力委員会と日本原子力研究開発機構(以下、「両当事者」という)は、高温ガス炉 (HTGR) の安全性研究が、将来において成功すること及び有益であることが期待されることを認識し、ここに、以下の認識に達した。

1. 両当事者は、それぞれ優れた専門知識と技術を有する両当事者間のより一層の協力が、相互にとり有益であり、世界的なHTGRの安全性研究に対して着実に貢献することを認識する。
2. 両当事者は、HTGRの安全性研究に関する情報交換の協力を着手する可能性を探求する。
3. 両当事者は、HTGRの安全性研究を促進させるため、将来の高温工学試験研究炉 (HTTR) の利用を考慮しつつ、HTTRで得られるデータの利用に関する検討に着手する可能性を探求する。
4. 両当事者は、平和的非爆発目的にのみ、この覚書における協力を実施する。

以上を証するため、両当事者は、ここに記された日付において正当な委任を受けた代表者によって、覚書を作成した。

2008年6月9日、アスタナにて二通が作成された。